

企画にあたって

応用物理学会 講演会企画運営委員長
平本 俊郎 (東京大学)

2018年第65回応用物理学会春季学術講演会は、早稲田大学西早稲田キャンパス、ベルサール高田馬場にて開催されます。早稲田大学西早稲田キャンパスは、東京メトロ副都心線・西早稲田駅直結のアクセスのよいキャンパスで、ポスターセッションと展示会が行われるベルサール高田馬場は2016年にオープンしたばかりのとてもきれいな施設です。

今大会では特別シンポジウムが8件、さらに分科企画・公募シンポジウムが32件、合計40件のシンポジウムが開催されます。それらのシンポジウムと14の大分類分科の各セッション、および境界領域を扱う合同セッション/コードシェアセッションにおいて、合計4,163件の発表（口頭発表2,873件、ポスター発表1,290件）が行われます。

またポスター会場ともなっているベルサール高田馬場では、164社・団体の企業・団体の展示会が開催されます。恒例の応物キャリア相談会、産学協働の広場、JSAPフォト・イラストコンテスト、スタンプラリー等もありますので、奮ってご参加ください。

講演会のプログラムはiPhone/iPadやAndroidのアプリでも閲覧いただけます。これを使えば、講演者や講演タイトル、講演時間なども簡単に検索でき、さらに予稿PDFも閲覧できますので、是非ご活用ください。

参加者にとって活力を生み出す有意義な講演会になるよう願っております。最後に、本講演会開催に向けてご尽力いただいた現地実行委員の先生方に深く感謝いたします。

